

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：9月レポート

稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
野村亮輔（研究推進部）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

● 10月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶ JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表2)、9月の訪日外客総数(推計値)は20万6,500人とコロナ禍の影響が表れ始めた2020年3月の水準(19万3,658人)を上回った。1日あたりの入国者数の上限が5万人に引き上げられた影響もあり、19年同月比では-90.9%と前月(同-93.3%)から減少幅は縮小した。また、同月の日本人出国者数は31万9,200人と前月(38万6,412人)から減少するも、2カ月連続で30万人を超える水準となった(2019年同月比-81.8%)。

▶ 訪日外客数のトップ5を国・地域別にみると、韓国は3万2,700人と2019年1月以来のトップとなった。次いでベトナムが3万900人、米国1万8,000人、中国が1万7,600人、インドネシアが9,200人と続く。

▶ 7-9月期の訪日外客数は52万878人と、4-6月期(40万7,024人)から11万人程度増加した(2019年同期比-93.3%)。また、同期の日本人出国者数は98万3,256人と、4-6月期(43万4,711人)から55万人程度増加(同-82.2%)。日本を上回るスピードで海外における水際対策緩和が進捗しており、アウトバウンド需要がインバウンド需要を上回っている。

▶ 目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば、7月は14万4,578人となった(2019年同月比-95.2%)(図2及び表3)。うち、観光客は3万315人(同-98.9%)、商用客は4万616人(同-73.5%)、その他客は7万3,647人(同-40.8%)であった。観光客、商用客は前月(観光客：1万2,405人、商用客：3万908人)から増加した一方で、その他客は幾分減少した(前月：7万7,117人)。

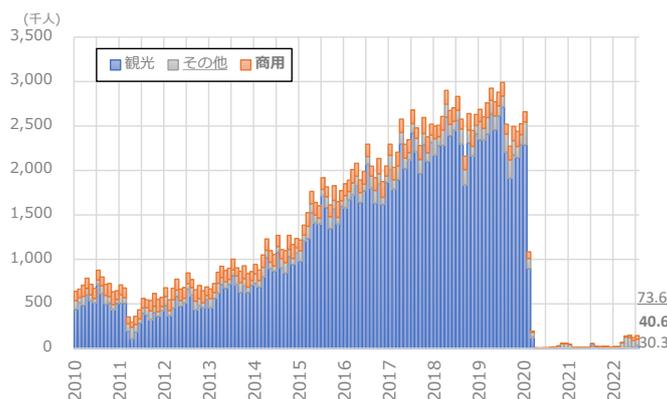
▶ 10月以降、水際対策の大幅緩和により訪日外客数の一層の回復が見込まれるが、回復のペースは国・地域によって異なる。コロナ禍前(2019年)における訪日外客数のトップ5の国・地域別(中国、韓国、台湾、香港、米国)19年同月比をみれば、韓国(同-83.8%)や米国(同-85.8%)の減少幅はいずれも7カ月連続で縮小している。一方、台湾(同-98.2%)は4カ月連続で、香港(同-98.2%)は3カ月連続、中国(同-97.9%)は2カ月ぶりにそれぞれ減少幅は縮小したが、依然90%超の減少にとどまっている。今後、韓国や米国などでは、着実な回復が期待されよう。一方、19年時に訪日外客の30%を占めていた中国ではゼロコロナ政策の影響で、回復が遅れる可能性が高い。

図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移



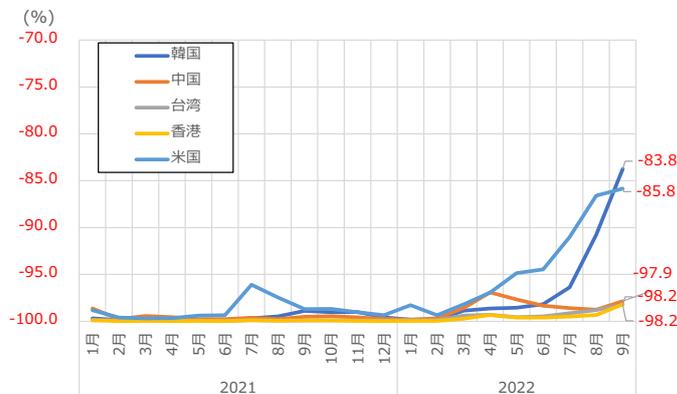
出所: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 2021年まで確定値、22年1-7月は暫定値、22年8-9月は推計値

図2 目的別訪日外客数推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

図3 コロナ禍前の上位5カ国・地域19年比の推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成。

*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の統計調査が現在行われていないため、2020年11月公表分レポートより内容を一部変更していることにご留意頂きたい。

トピックス 1

● 9月関西の財貨・サービス貿易及び8月のサービス産業動向

▶ 関西9月の輸出は前年同月比+19.5%と19カ月連続で増加し、前月(同+15.7%)から加速した(図4)。また、輸入は同+33.3%と20カ月連続で増加し、2桁の高い伸びが続く(前月:同+39.8%)。輸入の伸びが前月から減速し、輸出が加速した結果、関西の貿易収支は+744億円と3カ月ぶりの黒字(前月:-688億円)。結果、7-9月期は輸入の高い伸びが輸出の伸びを上回ったことで、貿易収支は-308億円と2014年7-9月期以来(-868億円)の赤字に転じた。

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、関西9月の対中輸出は前年同月比+12.9%と5カ月連続で増加した(前月:同+6.8%)。輸出増に寄与したのは半導体等電子部品や映像機器等であった。また、対中輸入は同+17.4%と5カ月連続の増加(前月:同+30.7%)。うち、輸入増に寄与したのは無機化合物や衣類及び同附属品等であった。7-9月期の対中輸出は前年同期比+12.5%と10四半期連続、対中輸入は同+27.0%と5四半期連続、それぞれ増加した(4-6月期:輸出:同+6.4%、輸入:同+21.0%)。

▶ 9月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は4万1,456人と前月(3万4,311人)から増加し(2019年同月比-93.1%)、コロナ禍の影響が出始めた2020年3月(3万5,696人)を上回った。また、日本人出国者数は3万7,649人と前月(4万2,797人)から減少。2019年同月比では-88.8%となり、減少幅は6カ月連続で縮小した。7-9月期の訪日外客数は10万9,562人と4-6月期(7万2,240人)から増加し、10万人を超える水準まで回復した(2019年同期比-95.0%)。また、同期の日本人出国者数は10万6,454人と4-6月期(3万6,305人)から増加した(同-90.5%)。

▶ 8月のサービス業の活動は行動制限のない夏季休暇もあり改善した。サービス業の生産活動を示す第3次産業活動指数(季節調整済み:2015年平均=100)をみれば(図7)、8月は100.0で前月比+0.7%上昇し、3カ月ぶりのプラス(前月:同-0.5%)。対面型サービス業指数*は90.8と同+1.9%上昇し、3カ月ぶりのプラス(前月:同-2.0%)。うち、飲食店、飲食サービス業(同+3.4%、3カ月ぶり)が上昇に寄与した(前月:同-4.2%)

▶ 観光関連指数**(2015年平均=100)は、82.8と前月比+2.8%上昇し、3カ月ぶりのプラス(前月:同-3.7%)(図7)。夏季休暇による旅行需要増加もあり、宿泊業(同+11.0%、2カ月ぶり)が上昇に寄与した(前月:同-13.6%)。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

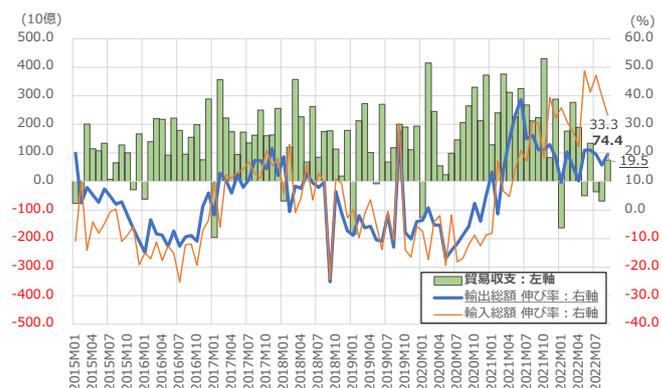
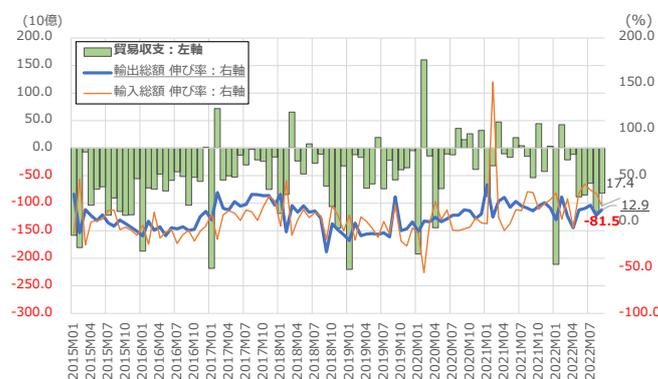


図5 関西 対中貿易の推移



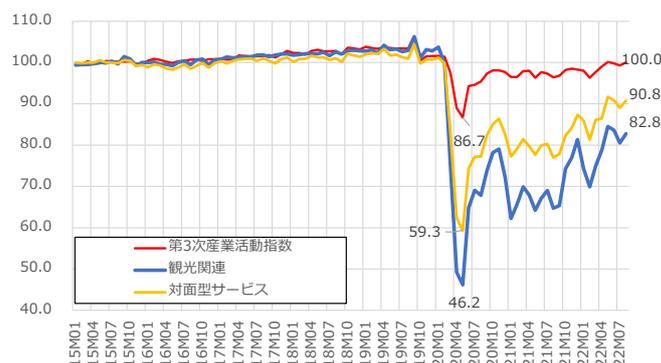
出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2022年9月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業:2015年=100



トピックス 2

● 7月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、7月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は**7,379.2千人泊**となった(表1)。2019年同月比では-30.4%となり、減少幅は3カ月連続で縮小した(前月：同-33.1%)。

▶日本人延べ宿泊者数は**7,274.1千人泊**であった。2019年同月比では**-1.9%**と減少幅は5カ月連続で縮小し、コロナ禍前の水準を回復しつつある(前月：同-5.6%)(表1及び図8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が2,407.7千人泊、京都府が1,761.4千人泊、兵庫県が1,037.1千人泊、三重県が550.2千人泊、和歌山県が386.0千人泊、滋賀県が300.9千人泊、福井県が280.6千人泊、徳島県が215.2千人泊、奈良県が187.4千人泊、鳥取県が147.7千人泊であった。2019年同月比でみれば、**京都府が+26.0%(2カ月連続)**、**奈良県が+7.7%(6カ月ぶり)**、**徳島県が+7.5%(7カ月ぶり)**といずれもプラスとなった。

▶外国人延べ宿泊者数は**105.1千人泊**であった。2019年同月比-**96.7%**と減少幅は前月(同-97.3%)から小幅縮小した(表1及び図9)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が50.2千人泊、京都府が34.1千人泊、兵庫県が6.1千人泊、滋賀県が3.9千人泊、和歌山県が2.9千人泊、三重県が2.4千人泊、鳥取県が2.0千人泊、福井県が1.3千人泊、奈良県が1.1千人泊、徳島県が1.1千人泊であった。

▶関西2府8県延べ宿泊者を居住地別で見ると(図10)、**県内の延べ宿泊者数は1,675.7千人泊**となった(2019年同月比+23.5%)。伸びは前月(同+14.1%)から拡大し**10カ月連続のプラス**。県外は5,476.9千人泊(同-36.3%)であった。伸びは前月(同-39.7%)から縮小した。

▶8月の全国延べ宿泊者数(全体、1次速報ベース)は46,719千人泊、2019年同月比-26.1%と減少幅は前月(同-23.1%)から拡大した。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

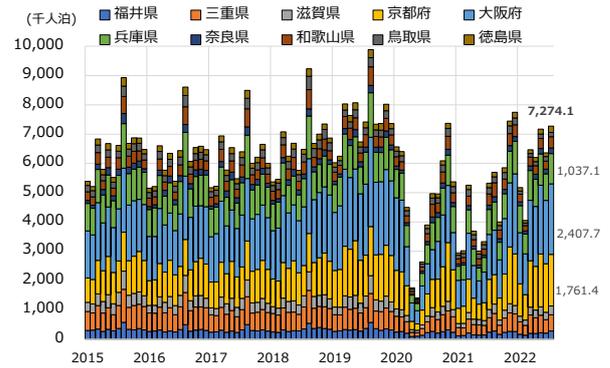


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

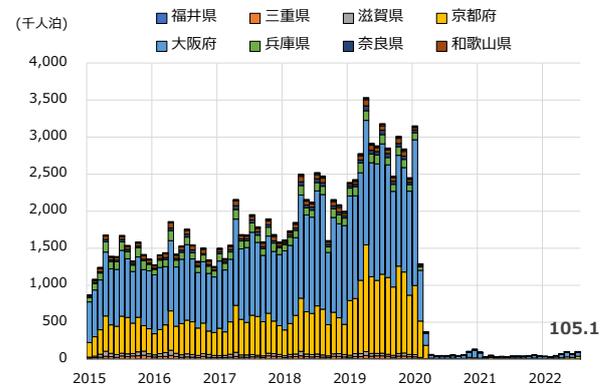
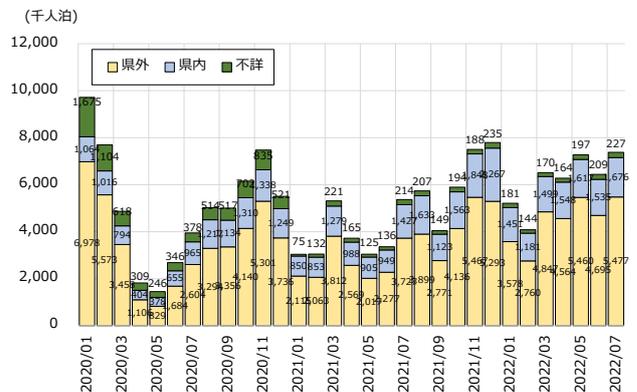


図10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率：7月

2022年7月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数： (千人泊)	伸び率： 21年比(%)	伸び率： 19年比(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	伸び率： 21年比(%)	伸び率： 19年比(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	伸び率： 21年比(%)	伸び率： 19年比(%)
福井県	281.9	16.7	-24.1	280.6	16.6	-23.1	1.3	48.9	-79.6
三重県	552.6	12.0	-26.2	550.2	11.9	-22.2	2.4	81.1	-94.2
滋賀県	304.9	8.0	-29.7	300.9	7.3	-24.7	3.9	140.2	-88.5
京都府	1,795.5	73.1	-27.1	1,761.4	71.1	26.0	34.1	346.3	-96.8
大阪府	2,457.8	58.2	-41.2	2,407.7	57.0	-0.6	50.2	153.8	-97.1
兵庫県	1,043.2	21.2	-14.3	1,037.1	21.4	-5.0	6.1	-9.9	-95.1
奈良県	188.5	32.8	-19.2	187.4	32.3	7.7	1.1	279.3	-98.1
和歌山県	389.0	0.5	-20.6	386.0	-0.1	-10.0	2.9	272.2	-95.2
鳥取県	149.7	-31.0	-39.8	147.7	-31.5	-35.8	2.0	42.0	-89.4
徳島県	216.2	40.9	3.1	215.2	41.4	7.5	1.1	-16.5	-88.9
関西2府8県	6,178.8	44.9	-31.5	6,080.4	43.9	2.8	98.4	166.5	-96.8
関西2府8県	7,379.2	37.5	-30.4	7,274.1	36.6	-1.9	105.1	151.6	-96.7
全国	39,824.2	31.9	-23.1	39,128.5	33.0	-4.5	695.7	-11.3	-93.6

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図8~10及び表1)

表2 2022年9月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)
	9月	9月		1-9月	1-9月	
総数	2,272,883	206,500	-90.9	24,417,820	1,028,500	-95.8
総数(韓国・その他除く)	1,953,479	143,000	-92.7	18,599,666	718,000	-96.1
韓国	201,252	32,700	-83.8	4,934,315	118,100	-97.6
中国	819,054	17,600	-97.9	7,402,578	113,000	-98.5
台湾	376,186	6,700	-98.2	3,736,530	26,300	-99.3
香港	155,927	2,800	-98.2	1,660,886	8,700	-99.5
タイ	62,057	7,600	-87.8	868,443	28,800	-96.7
シンガポール	29,147	2,900	-90.1	284,644	10,300	-96.4
マレーシア	28,778	3,000	-89.6	309,491	11,600	-96.3
インドネシア	25,021	9,200	-63.2	282,269	57,200	-79.7
フィリピン	37,758	8,500	-77.5	402,119	50,400	-87.5
ベトナム	38,325	30,900	-19.4	376,043	191,500	-49.1
インド	15,895	5,200	-67.3	135,365	32,500	-76.0
豪州	60,498	4,700	-92.2	449,228	15,000	-96.7
米国	127,190	18,000	-85.8	1,277,007	76,500	-94.0
カナダ	28,525	2,400	-91.6	269,147	9,500	-96.5
メキシコ	6,282	800	-87.3	51,367	2,700	-94.7
英国	49,580	4,500	-90.9	290,419	18,300	-93.7
フランス	26,530	5,300	-80.0	252,325	20,100	-92.0
ドイツ	22,768	5,300	-76.7	177,104	19,400	-89.0
イタリア	13,354	2,600	-80.5	124,492	9,000	-92.8
ロシア	11,472	2,000	-82.6	98,674	6,000	-93.9
スペイン	10,454	1,200	-88.5	83,720	5,200	-93.8
中東地域	8,678	1,800	-79.3	67,815	6,000	-91.2
その他	118,152	30,800	-73.9	883,839	192,400	-78.2

表3 2022年7月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)	2019年	2022年	伸率(%)
	7月	7月		7月	7月		7月	7月		7月		
総数	2,991,189	144,578	-95.2	2,713,329	30,315	-98.9	153,430	40,616	-73.5	124,430	73,647	-40.8
韓国	561,675	20,384	-96.4	517,548	6,392	-98.8	28,319	8,758	-69.1	15,808	5,234	-66.9
中国	1,050,420	14,803	-98.6	973,293	1,461	-99.8	37,223	2,404	-93.5	39,904	10,938	-72.6
台湾	459,216	3,945	-99.1	441,976	644	-99.9	10,710	2,009	-81.2	6,530	1,292	-80.2
香港	216,810	1,091	-99.5	212,590	233	-99.9	3,285	569	-82.7	935	289	-69.1
タイ	73,202	4,794	-93.5	67,670	2,244	-96.7	3,136	1,349	-57.0	2,396	1,201	-49.9
シンガポール	21,716	1,967	-90.9	18,078	333	-98.2	3,236	1,434	-55.7	402	200	-50.2
マレーシア	22,957	1,616	-93.0	19,890	298	-98.5	2,233	913	-59.1	834	405	-51.4
インドネシア	25,215	7,212	-71.4	19,111	800	-95.8	2,510	931	-62.9	3,594	5,481	52.5
フィリピン	37,771	6,888	-81.8	30,686	2,444	-92.0	2,499	772	-69.1	4,586	3,672	-19.9
ベトナム	40,762	22,738	-44.2	17,324	1,104	-93.6	3,652	1,200	-67.1	19,786	20,434	3.3
インド	13,222	4,178	-68.4	5,133	397	-92.3	5,593	1,713	-69.4	2,496	2,068	-17.1
豪州	34,873	2,330	-93.3	31,016	588	-98.1	2,676	1,157	-56.8	1,181	585	-50.5
米国	156,865	14,127	-91.0	133,516	5,099	-96.2	17,128	5,216	-69.5	6,221	3,812	-38.7
カナダ	29,285	1,622	-94.5	26,663	651	-97.6	1,665	537	-67.7	957	434	-54.6
メキシコ	8,661	371	-95.7	8,132	113	-98.6	332	145	-56.3	197	113	-42.6
英国	28,928	2,889	-90.0	22,762	806	-96.5	4,448	1,276	-71.3	1,718	807	-53.0
フランス	34,634	3,561	-89.7	29,836	1,264	-95.8	3,204	1,440	-55.1	1,594	857	-46.2
ドイツ	18,593	3,520	-81.1	13,312	832	-93.8	4,288	2,059	-52.0	993	629	-36.7
イタリア	13,566	1,384	-89.8	11,313	272	-97.6	1,780	816	-54.2	473	296	-37.4
ロシア	9,005	778	-91.4	6,380	161	-97.5	1,884	297	-84.2	741	320	-56.8
スペイン	15,771	816	-94.8	14,341	226	-98.4	900	382	-57.6	530	208	-60.8
中東地域	6,813	935	-86.3	5,331	157	-97.1	1,099	466	-57.6	383	312	-18.5
その他	111,229	22,629	-99.8	87,428	3,796	-100.0	11,630	4,773	-99.6	12,171	14,060	-98.8

注) 目的別訪日外客数の定義については、図2注参照。
出所: 日本政府観光局(JNTO)、2022年10月19日付より筆者加工